

チャットツールを授業中に活用し、ファイルを共有した。協働編集することでこれまでにない活用方法が見いだせた。ただし、個別最適な学びを実施した結果、進度が揃わずに考査を迎えてしまうこともあった。この反省を活かし、一斉授業と個別最適な学びのハイブリッド方式で授業を進めた。チャットツールの課題配信機能を利用することで、生徒がどの課題に取り組んでいるのかを把握することができた。また、取り組んでいる最中の課題のファイルを開くと、生徒のカーソルが確認でき、テキストを入力している様子を見ながら机間指導を行うことができた。